

ニホンナシ「あきづき」の予備枝花芽着生促進技術

福島県農業総合センター 果樹研究所
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

果樹 - ナシ - 品種・整枝・せん定、作業技術
分類コード 04-03-01082900

2 担当者

木幡栄子・永山宏一・松野英行・斎藤義雄・志村浩雄・畠良七

3 要旨

ニホンナシ「あきづき」において、前年の夏期にあらかじめ誘引した枝を1/3程度切り戻して予備枝とした場合、6月下旬～7月上旬の誘引処理により、新梢の腋花芽分化率が高まるとともに、予備枝上の花芽(短果枝となるもの)着生率は予備枝の長さに係わらず30%以上となった。これらのことから、6月下旬～7月上旬の予備枝の誘引は花芽(腋花芽および短果枝)を確保する上で有効な技術であると考えられた。

- (1) 予備枝生育については、予備枝へのスコアリング処理、切り戻し後の予備枝長、発生位置による有意差は認められなかった。
- (2) 予備枝新梢伸長量では、7月中旬に誘引した区は有意に多かった。
- (3) 予備枝の花芽分化率については、予備枝へのスコアリング処理、切り戻し後の予備枝長、発生位置による有意差は認められなかった。
- (4) 予備枝新梢の腋花芽分化率は、7月中旬に誘引した区で有意に低かった。不良芽率、発育枝発生率に有意な差は認められなかったが、切り戻し後の予備枝長が長いものは発育枝発生率が高い傾向が見られた。

4 その他の資料等

- (1) 平成10～14年度福島県果樹試験場試験研究成績書
- (2) 平成16年度「参考となる成果」